

# 中東遠総合医療センター救急科専門医研修プログラム (中東遠総合医療センター)

## 1 はじめに

当院の救急科専門研修プログラムでは、救急搬送患者を中心に、急病、外傷、中毒など、原因や障害臓器の種類を問わず幅広い救急症例を経験することができます。患者が医療にアクセスした時点では病態や緊急性が明らかでないことも多く、そうした状況において適切に初期対応を行う能力を養うことを本プログラムの基本理念としています。

当院は地域の基幹病院として、「救急を断らない」ことをモットーに診療を行っており、軽症から重症まで多様な救急症例を数多く受け入れています。そのため、日常診療を通じて自然と豊富な臨床経験を積むことができ、専門研修の修了要件を満たす症例数・症例内容ともに十分な環境が整っています。

また、当院は救命救急センターを有しており、一次・二次救急のみならず、重症外傷、ショック、中毒、重症感染症などの三次救急症例にも積極的に対応しています。初療から集中治療に至るまで一貫して関わることで、超急性期における全身管理能力を実践的に習得できる点が、本プログラムの大きな特徴です。さらに、各専門診療科との連携を通じて、救急科専門医として求められる調整力・統括力も身につけることができます。



プログラム統括責任者 中東遠総合医療センター 院長補佐 松島 暁

## 2 目的

本研修プログラムによる専門研修により、以下の能力を備えることができます。

- 1) 様々な傷病、緊急度の救急患者に、適切な初期診療を行える。
- 2) 複数患者の初期診療に同時に対応でき、優先度を判断できる。
- 3) 重症患者への集中治療が行える。
- 4) 他の診療科や医療職種と連携・協力し良好なコミュニケーションのもとで診療を進めることができる。
- 5) 必要に応じて病院前診療を行える。
- 6) 病院前救護のメディカルコントロールが行える。
- 7) 災害医療において指導的立場を発揮できる。
- 8) 救急診療に関する教育指導が行える。
- 9) 救急診療の科学的評価や検証が行える。
- 10) プロフェッショナルリズムに基づき最新の標準的知識や技能を継続して修得し能力を維持できる。

- 11) 救急患者の受け入れや診療に際して倫理的配慮を行える。
- 12) 救急患者や救急診療に従事する医療者の安全を確保できる。

### 3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設 中東遠総合医療センター

### (2) 専門研修連携施設

連携施設 名古屋大学医学部附属病院

4 専攻医受入数 2名

5 研修期間 3年間

### 6 研修計画(例)

#### (1) 専門研修1年目

救急医としての基礎を身につけることを目標とします。救急診療、集中治療、病院前救護・災害医療について、基本的な知識と技能を段階的に学びます。また、必要に応じて他診療科でのローテーション研修を行い、幅広い診療経験を積みます。

#### (2) 専門研修2年目

1年目に身につけた基礎をもとに、より実践的な力を養います。救急診療、集中治療、病院前救護・災害医療において、応用的な知識と技能を習得し、診療への主体的な関わりを増やしていきます。引き続き、必要に応じて他診療科でのローテーション研修を行います。

#### (3) 専門研修3年目

救急医として自立した診療が行えるよう、実践力を高めます。

救急診療、集中治療、病院前救護・災害医療において、より高度で実践的な知識と技能を身につけ、チーム医療の中心的役割を担うことを目指します。必要に応じて、他診療科での研修も行います。

※なお、救急診療、集中治療、病院前救護・災害医療については、年次にとらわれず、個々の習熟度に応じて柔軟に研修を行います。

### 7 問い合わせ先

〒436-8555 静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 臨床研修センター

電話 0537-28-9501 E-mail:kensyu@chutoen-hp.shizuoka.jp

HP: <http://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

## 8 「静岡県キャリア形成プログラム」における取扱い

### (1) サブスペシャリティ領域、プログラムリーダー

領域:救急科

プログラムリーダー: 松島 暁

### (2) キャリア形成プログラム受入見込み数

「4 専攻医受入数」の内数 1名

### (3) 具体的なコース

後期研修、後期研修後の7年間のうち4年間で医師少数区域または医師少数スポットで勤務

初期研修	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
2年	3年	4年
県内病院	<b>【基幹病院】</b> 中東遠総合医療センター （2年間） 6ヶ月以上、名古屋大学医学部 附属病院にて勤務	（4）に記載の医療機関に加え、 中東遠総合医療センター（2年間）

### (4) 勤務する医療機関

二次医療圏	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
賀 茂		
熱海伊東		
駿東田方		
富 士		
静 岡		
志太榛原		
中東遠		
西 部		聖隷浜松病院 聖隷三方原病院

※下線は、医師少数区域、医師少数スポットに所在する病院

### (5) 取得できる資格

日本救急医学会救急科専門医

## **(6) 問い合わせ先**

〒436-8555 静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番地の1  
掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 臨床研修センター  
電話 0537-28-9501 E-mail:kensyu@chutoen-hp.shizuoka.jp  
HP: <http://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>